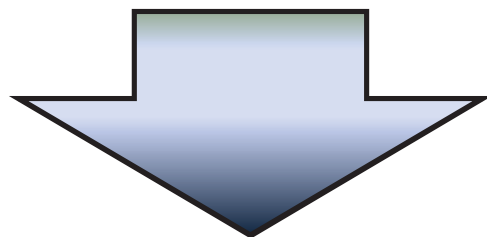


北陸農政局の誕生

戦後の、日本経済の著しい成長に伴い、農業と他産業との格差が拡大するとともに、同時に国際的な競争力も身に付ける必要が生じてきた。



日本農業の再建のため、土地保有の合理化や農業経営の近代化等による農業構造の改善、農業の選択的拡大の推進を図る。



地域の実情に即しつつ弾力的かつ機動的に農政を展開していく必要から

全国7ヶ所に「地方農政局」

を従来の農地事務局を母体に設置
(昭和38年5月1日)



金沢農地事務局 (昭31当時)

北陸農政局(旧庁舎)
(昭和38年5月金沢農地事務局を廃止し設置)



看板の設置
(重正農林大臣直筆)



北陸農政局(現在)
(昭和40年11月現在の金沢
合同庁舎が落成し移転)

(拡大図)



北陸農政局(旧庁舎)
石川県金沢市彦三町1丁目15-5

北陸農政局(広坂合同庁舎)
石川県金沢市広坂2-2-60